

KORG

調べ

三味線用 / 箏用 WT-30S / WT-30K

取扱説明書

このたびは、コルグ邦楽チューナー「調べ」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

安全上のご注意

火災・感電・人身傷害の危険を防止するには以下の指示を守ってください

- 警告** この注意事項を無視したり取扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 次のような場合には、直ちに電源を切る。
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき
 - 修理が必要なときは、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへ修理を依頼してください。
- 本製品を分解したり改造したりしない。
- 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
- 万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)での使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
- 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
- 雨天時の野外などような湿気の多い場所で、使用や保管はしない。
- 本製品の上に液体の入ったもの(水や薬品等)を置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。
- 濡れた手で本製品を使用しない。

注意

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
 - ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
 - ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
 - 本製品をテレビ等の横に設置すると、本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因になることがあります。
 - 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
 - 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
 - 電池は幼児の手の届かないところへ保管する。
- スイッチやつまみなどに必要以上の力を加えない。
 - 故障の原因になります。
 - 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強酸性のボリッシャーは使用しない。
 - 不安定な場所に置かない。

●●●●●●●●

電池の入れ方(三味線用/箏用共通)

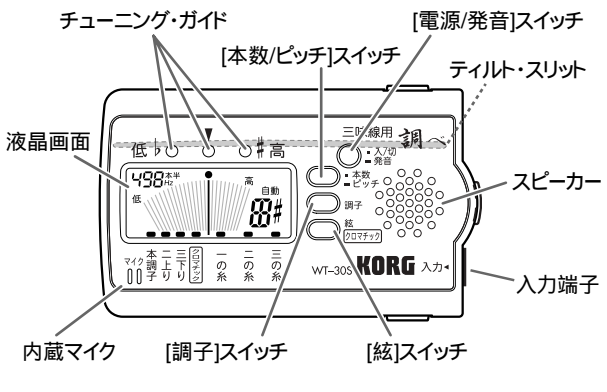
両脇の“ PUSH ”を押しながら、ケースを開けます。極性に注意して、電池を入れてください。

誤動作が発生したときは、電源のオンとオフを何度か行ってください。それでも正常に動作しない場合は、電池を一旦はずし、再度入れなおしてください。

付属の電池は、動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。

●●●●●●●●

三味線用(WT-30S)



本体裏側のスリットは、チューナーを傾けて使うためのものです。スリットにカード等をセットしてお使いください(大切なカード類は使用しないでください)。

三味線のチューニング

液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)

- 別売オプションのコルグ コンタクト・マイクCM-100を使用するときは、マイクのプラグを本機の入力端子に接続します。内蔵マイクを使うときは、入力端子にプラグを接続せずに、手順4で内蔵マイクを楽器にできるだけ近づけます。
 - 入力端子にプラグが接続されているときは、内蔵マイクは使用できません。また、入力端子はモノラル専用です。ステレオ・プラグは使用できません。
- [電源/発音]スイッチを押し、電源をオンにします。電源をオンにした後、約20分間音が入力されない場合は、自動的にオフになります。
- 必要なときは、調子、本数、絃、ピッチを変更します。調子を変更するときは[調子]スイッチを押します。[調子]スイッチを押すたびに、本調子→二上り→三下り→クロマチック→本調子→…と選択できます。選んだ調子は液晶画面の左下に示されます。

クロマチックを選択しチューニングするときは、後述の「クロマチック・チューニング」の項をご覧ください。

本数を変更するときは[本数/ピッチ]スイッチを押します。1本～12本半の範囲で変更できます。選んだ本数は液晶画面の左上に表示されます。

絃を変更するときは[絃]スイッチを押します。[絃]スイッチを押すたびに、一の糸→二の糸→三の糸→自動→一の糸→…と選択できます。選んだ絃は液晶画面の右下に示され、その上に音名が表示されます。

ピッチを変更するときは[本数/ピッチ]スイッチを1秒以上押します。液晶画面の左上がピッチ表示に変わり、点滅します。表示の点滅中に[本数/ピッチ]スイッチを押して、ピッチを変更します。[本数/ピッチ]スイッチを押さないまま3秒経つと、本数表示に戻ります。

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。メーターが 位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。手順3で絃を「自動」にしたときは、絃を鳴らすと、その音に一番近い絃名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい絃名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが 位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。チューニング時は、他の音がマイクに入らないようにしてください。

本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)

- “三味線のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順2、3を設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、一の糸～三の糸の音が順番に鳴ります。音を固定するときは[絃]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[絃]スイッチを押します。
- 音に合わせて、それぞれの絃をチューニングします。
- 音を止めるときは[電源/発音]スイッチを押します。

クロマチック・チューニング

液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)

- “三味線のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。音名を変更するときは[絃]スイッチを押します。[絃]スイッチを押すたびに、以下のように音名が変更されます。選んだ音名はメーターの右側に表示されます。音名: 自動→C→C#→D→D#→E→F→F#→G→G#→A→A#→B→自動→…

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。メーターが 位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。手順1で絃を「自動」にしたときは、絃を鳴らすと、その音に一番近い音名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい音名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが 位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。チューニング時は、関係のない音がマイクに入らないようにしてください。

本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)

- “三味線のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、12の音が順番に鳴ります。12の音: C(4)→C#→D→D#→E→F→F#→G→G#→A→A#→B→C(4)→…音を固定するときは[絃]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[絃]スイッチを押します。
- 音に合わせて、それぞれの絃をチューニングします。
- 音を止めるときは[電源/発音]スイッチを押します。

仕様

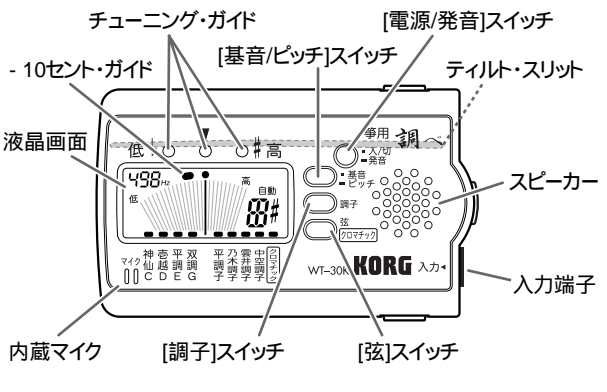
音律:	平均律
調子名:	本調子、二上り、三下り、クロマチック
本数:	1本～12本半(110.00Hz～213.74Hz)
測定範囲:	C1(32.70Hz)～C8(4186.01Hz)
基準音範囲:	A2(110.00Hz)～B4(493.88Hz)
チューニング・モード:	メーター・モード、サウンド・モード
ピッチ範囲:	A = 430Hz～445Hz
測定精度:	±1セント以内
サウンド精度:	±1セント以内
接続端子:	INPUT(6.3モノラル標準ジャック)
電源:	単4電池2本 3V
電池寿命:	約100時間(マンガン電池、メーター・モード音声連続入力時)

外形寸法 (W x D x H):	104 x 64 x 15 mm
重量:	81g(電池含む)
付属品:	取扱説明書、調弦早見表、動作確認用単4電池 x 2本
オプション:	CM-100コンタクト・マイク

調子、本数、絃、音名、ピッチの設定は、電源をオフにしても記憶しています。ただし、電池を交換した場合は、設定が初期化されます。仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

●●●●●●●●

箏用(WT-30K)



本体裏側のスリットは、チューナーを傾けて使うためのものです。スリットにカード等をセットしてお使いください(大切なカード類は使用しないでください)。

箏のチューニング

液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)

- 別売オプションのコルグ コンタクト・マイクCM-100を使用するときは、マイクのプラグを本機の入力端子に接続します。内蔵マイクを使うときは、入力端子にプラグを接続せずに、手順4で内蔵マイクを楽器にできるだけ近づけます。
 - 入力端子にプラグが接続されているときは、内蔵マイクは使用できません。また、入力端子はモノラル専用です。ステレオ・プラグは使用できません。
- [電源/発音]スイッチを押し、電源をオンにします。電源をオンにした後、約20分間音が入力されない場合は、自動的にオフになります。
- 必要なときは、調子、基音、絃、ピッチを変更します。調子を変更するときは[調子]スイッチを押します。[調子]スイッチを押すたびに、平調子→乃木調子→雲井調子→中空調子→クロマチック→平調子…と調子が変更されます。選んだ調子は液晶画面の右下に示されます。クロマチックを選択しチューニングするときは、後述の「クロマチック・チューニング」の項をご覧ください。基音を変更するときは、[基音/ピッチ]スイッチを押します。神仙C～双調Gの範囲で変更できます。選んだ基音は液晶画面の左下に示されます。

絃を変更するときは[絃]スイッチを押します。[絃]スイッチを押すたびに、1(一)→2(二)→3(三)…→11(斗)→12(為)→13(巾)→自動→1(一)→…と選択できます。選んだ絃は液晶画面の左上に表示され、メーターの右側に音名が表示されます。1絃を、通常より1オクターブ下に合わせるときは、クロマチック・チューニングを行います。

ピッチを変更するときは[基音/ピッチ]スイッチを1秒以上押します。液晶画面の左上がピッチ表示に変わり、点滅します。表示の点滅中に[基音/ピッチ]スイッチを押して、ピッチを変更します。[基音/ピッチ]スイッチを押さないまま3秒経つと、基音表示に戻ります。

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。メーターが 位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。手順3で絃を「自動」にしたときは、絃を鳴らすと、その音に一番近い絃名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい絃名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが 位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。チューニング時は、他の音がマイクに入らないようにしてください。

本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)

- “箏のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順2、3を設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、1(一)～13(巾)の音が順番に鳴ります。音を固定するときは[絃]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[絃]スイッチを押します。
- 音に合わせて、それぞれの弦をチューニングします。
- 音を止めるときは[電源/発音]スイッチを押します。

クロマチック・チューニング

液晶画面を見ながらチューニングしよう(メーター・モード)

- “箏のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。音名を変更するときは[絃]スイッチを押します。[絃]スイッチを押すたびに、以下のように音名が変更されます。選んだ音名はメーターの右側に表示されます。音名: 自動→C→C#→D→D#→E→F→F#→G→G#→A→A#→B→自動→…

- 絃を鳴らしながらチューニングします。絃は1本ずつチューニングしてください。メーターが 位置(液晶画面中央)を指すように絃を調整します。次に、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。手順1で絃を「自動」にしたときは、絃を鳴らすと、その音に一番近い音名が液晶画面に表示されます。まず、合わせたい音名が表示されるように絃を調整します。次に、メーターが 位置(中央)を指すように調整します。そして、チューニング・ガイドの中央ランプが点灯するように調整します。チューニング時は、関係のない音がマイクに入らないようにしてください。

本機の音に合わせてチューニングしよう(サウンド・モード)

- “箏のチューニング”の「液晶画面を見ながらチューニングしよう」の手順3で、調子をクロマチックに設定します。
- [電源/発音]スイッチを1秒以上押すと、12の音が順番に鳴ります。12の音: C(4)→C#→D→D#→E→F→F#→G→G#→A→A#→B→C(4)→…音を固定するときは[絃]スイッチを押します。次の音へ切り替えるときは[絃]スイッチを押します。
- 音に合わせて、それぞれの弦をチューニングします。
- 音を止めるときは[電源/発音]スイッチを押します。

仕様

音律:	平均律
調子名:	平調子、乃木調子、雲井調子、中空調子、クロマチック
律名:	神仙(二尺 4C 261.63Hz) <p>杏越(一尺八寸 4D 293.67Hz)</p> 平調(一尺六寸 4E 329.63Hz) 双調(一尺三寸 4G 392.00Hz)
測定範囲:	C1(32.70Hz)～C8(4186.01Hz)
基準音範囲:	F3(174.61Hz)～D6(1174.66Hz)
チューニング・モード:	メーター・モード、サウンド・モード
ピッチ範囲:	A = 430Hz～445Hz
測定精度:	±1セント以内
サウンド精度:	±1.2セント以内
接続端子:	INPUT(6.3モノラル標準ジャック)
電源:	単4電池2本 3V
電池寿命:	約100時間(マンガン電池、メーター・モード音声連続入力時)

外形寸法 (W x D x H):	104 x 64 x 15 mm
重量:	81g(電池含む)
付属品:	取扱説明書、調弦早見表、動作確認用単4電池 x 2本
オプション:	CM-100コンタクト・マイク

調子、基音、絃、音名、ピッチの設定は、電源をオフにしても記憶しています。ただし、電池を交換した場合は、設定が初期化されます。仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証規定(必ずお読みください)

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

- 本保証書の有効期間はお買い上げ日より1ケ年です。
- 次の修理等は保証期間内であっても有料修理となります。
 - 消耗部品(電池、スピーカーなど)の交換。
 - お取り扱い方法が不適当のために生じた故障。
 - 天災(火災、浸水等)によって生じた故障。
 - 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
 - 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
 - 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
 - 本保証書の提示がない場合。

- 尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
- お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターまでお問い合わせください。
- 修理、運送費用が製品の価格より高くなる場合がありますので、あらかじめ最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへご相談ください。運送にかかる往復の費用はお客様の負担とさせていただきます。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損傷につきましては、弊社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。本保証書は、保証規定により無料修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

- 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
- 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

コルグ 調べ 三味線用/箏用 保証書			
本保証書は上記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から満1年の間に万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に製品と本保証書をご持参の上、修理を依頼してください。			
お買い上げ日	年	月	日
販売店名			

アフターサービス

アフターサービスについての質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

お客様相談窓口	TEL 03(3799)9086
---------	------------------

サービス・センター: 〒143-0001 東京都大田区東海5-4-1 明正大井5号営業所
コルグ物流センター内 TEL 03(3799)9085
名古屋営業所: 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町100-51 TEL 052(832)1419
大阪営業所: 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館7F TEL 06(6374)0691
福岡営業所: 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-25第2池田ビル1F TEL 092(531)0166

KORG

©2003 Printed in China

URL: http://www.korg.co.jp/